

共同「神奈川における交易・交流―神奈川をめぐるモノを活用した日本史教材―」経過報告

茅ヶ崎高校 中 田 稔

日本史必修化が囁かれている中、日本史研究推進委員会では発足当時より共同テーマを掲げ、地域に残されている郷土資料を使って、それをどのように教材化し、授業に生かすことが出来るかを研究課題として活動している。今年度の共同テーマ「神奈川における交易・交流―神奈川をめぐるモノを活用した日本史教材―」はすでに七年目となる。このテーマに沿って八月と二月を除く毎月一回、委員の勤務校や県内施設を使って月例会を開き、その成果を秋と春の研究発表会で発表してきた。七月には全歴研東京大会に日本史から矢野慎一（柏陽高校）が参加・発表し、今年も神奈川の研究水準の高さを披露した。八月には恒例となった夏季巡検や、日本史サマーセミナーを企画した。三月には県立公文書館の川島敏郎が長年研究してきた「大山」について、新発見文書を使った最新の調査結果を講演してくれた。各月例会場、研究発表者は次のとおり。

【月例会】

四月（県民センター）・五月（湘南）・六月（県民センター）・七月（労働福祉会館）・九月（茅ヶ崎）・十月（上鶴間）・十一月（生田）・十二月（湘南）・一月（上鶴間）・三月（柏陽）

【研究発表】

○春季研究発表会（二〇一〇年三月五日）かながわ県民センター

「庶民の物見遊山―人・モノ・が行き交う大山道と大山二の鳥居―」川島敏郎（県立公文書館資料課専門委員）

○全国歴史教育研究協議会東京大会（七月二九日）（慶応大学）

『有栖川宮記念厚生資金』の教材化 矢野慎一（柏陽高校）

【夏季巡検】

二〇回目にあたる今年度は八月二一日に、大田区の池上本門寺から大田区郷土資料館方面を柏陽高校矢野慎一の案内で実施した。池上本門寺は日蓮宗大本山で山号は長栄山。広大な境内には多数の文化財や史跡がある。その後新田神社を訪ね、亀の子山古墳を含む多摩川台古墳群・大田区立郷土資料館を訪問した。

【冬季巡検】

冬休みの一月六日、上鶴間高校を起点に、同校児玉祥一・同校卒業生（現大学院生）の案内で、上鶴間高校前を流れる境川の護岸工事前の蛇行流跡や残存し

ている旧流路を確認しながら大산道に面している大和市下鶴間の相州下鶴間宿を巡検した。冬の巡検も今後日本史研究推進委員会の年間事業として位置づけし、その成果を授業に還元できるようにしていくつもりである。

【二〇〇九日本史サマーセミナー】

柏陽高校を会場に、八月二六・二七日の二日間、教員研修を目的とした夏季講座を実施した。二年目になる今年度も当委員会の教員が中心となって、センター試験対策授業を行った。柏陽高校以外の高校の生徒・教員も多数参加し、盛況の内に修了することができた。最後になったが、月例会の会場をご提供していただいた各高等学校、県民センターに感謝申し上げますとともに、今後ともご理解・ご協力をお願いする次第である。